

【1 分解説】モーダルシフトとは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究員 岩井 紳太郎

モーダルシフトとは、トラックでの貨物輸送を鉄道や船舶等の環境負荷の小さい輸送手段に切り替えることを指します。鉄道や船舶はトラックと比較して輸送量当たりのCO2排出量が少ないため、モーダルシフトによって環境負荷の低減に効果があるとされています。

モーダルシフトは脱炭素に向けた取組みの1つとして推進されてきましたが、最近では「物流の2024年問題」への対策としても関心が集まっています。「物流の2024年問題」とは、同年4月以降トラックドライバーの時間外労働に上限規制が適用されることで発生する問題の総称を指します。具体的には、ドライバー1人当たりの走行距離が短くなることによる配送量の減少や、ドライバーの不足が問題として挙げられます。鉄道や船舶は大量輸送が可能であり、輸送量当たりの人員がトラックよりも少なく済むため、モーダルシフトは上記の問題への対応策の1つとして注目されています。

政府が2023年10月に発表した「物流革新緊急パッケージ」では、モーダルシフトの推進が盛り込まれ、物流産業においても輸送手段をトラックから鉄道やフェリーに転換する動きが出てきています。

環境面のメリットに加えて、「物流の2024年問題」への対策としても期待できるモーダルシフトの重要性は高まっています。

関連レポート

・岩井紳太郎「【1 分解説】物流の2024年問題とは？」(2023年11月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/290059.html>